ヲ其曉ニ於テ何等労働ニ手傳ナク且ハ働階級ノ真意ヲ解セザルモノ等ヲ運動セシテ労働問題ノ改善ヲ期待スルハ恰モ木ニ縁ッテ魚ヲ求ムルノ類ノミ労働問題ノ改善ハ労働者自身ノ手ニ於テセザルヘカラス若シ或ハ現代政界ノ人ニシテ労働党組織ノ計画アリト傳フルモ彼等ノ組織セントスルモノハ基礎ヲ政党ニ置カントスルヤ論ナシ斯クテハ何等吾人ノ益スル所ナキ事明々スルノ要ナキナリ吾人ハ須ク吾人ノ手ニ依テ労働党ノ組織ヲ企画セザルベカラズ而シテ之カ基礎ヲ労働者ニ置クハ勿論ナルモ須至友愛会員ノミヲ以テシテハ到底党勢ノ為弱ナルヲ免カレザルガ故ニ此際労働階級糾合ノ方法トシテ全口官営企業ノ労働者ニ宣傳スルノ件ニ付トエト云フ意見ヲ抱持スルモノハ加ク本名ノ腹心タル福岡駒吉ヲシテ叙上労働者間ニ於ケル組合ノ有無役員ノ氏名等ヲ内査セシメ既設ノモノニ対シテハ計画ノ実行ニ為手シ続ニ模関事業務員懐柔策トシテ会会書記ノ紹近藤第次ノ勧ヒリ買フニ努カメツヽアル形跡アリ

一、大正九年八月三十一日午前九時五十分ヨリ芝区三田四国町二番地統一教会ニ於テ模上ニ関東出張所大会ハ開催来会者約百二十名未賓トシテ堺利彦(欠剔要視無之)加藤勘十、武井榮(天適ニ労働組合)福岡駒□(会上)其他新才観者平ニシテ友愛会理事棚橋小虎ハ開会ノ辞ニ次テ議長選挙ニ移リ大多数ヲ以テ棚橋小虎当選シ続テ代議員資格審査予算会討審査建設懇親会ノ各委員ノ選挙ヲ代議員ニ委託スル事トナリ代議員選挙ヲナシ閉票ノ結果高田和逸外五十四名ニ決定シ休憩後福岡金二郎ハ友愛会関東出張所ノ会計会務ヲ報告シ各組合ノ代表演説トナリ終テ議長ヨリ業務ノ遂行ヲナスト宣スルヤ代議員中ヨリ緊急動議アリト述ヘ多数決ヲ以テ東京電気及器械技工組合ヨリ提出ノ平沢計七ニ係ル協議ニ関スルニ合人ニ対スル富士紡績会社罷業事件其他ノ審査ヲ会ヲ開催スルコトヽナリ正午休憩午後一時再会午前ニ引続キ本問会ニ移リ其ノ結果

訴ニ委員ハ各組合及提出者側ヨリ一名宛ヲ事ニ議長指名ノ内田藤七、平野安蔵、稲葉平太、泉忠外二名参考人トシテ平沢計七ノ側ニ居スル城東聯合会員河野重太郎外一名指名而シテ査問会ハ議事終了後開催スル事トシ並ニ議事ニ移リ午後四時二十五分ニ至リ議案議了直ニ査問会ニ入リ全委員内田藤七、稲葉平太、泉忠外五名ヲ以テ開催其結果平沢計七ハ友愛会ヲ脱会セシムルコトニ決定シ全六時散会セリ

一、客月開催シタル関東大会ニ於テ従来ノ関東出張所ヲ東京聯合会ト改称スヘノ決定ヲ募一事務所ヲ芝浦埋立地(目下新築中ニテ竣工ハ本月下旬落成)及第二事務所ヲ本所区押上町一五五紡織労働組合内ニ置キ東京府下ニ於ケル各支部ヲ統括スル事トシ此部員福岡金二郎ハ第二事務所ノ会務担当ノ為メ九月七日会所ニ移転セリ

一、九月十二日午後二時十分ヨリ芝区三田四国町ノ七番地本部楼上ニ於テ来月中旬大阪ニ於テ挙行セラル予定ナル創立八週年紀念大会提出議案ニ付テ協議ノ理事会開催来会者会長鈴木文治、評議員、並沢剣二郎理事中村一織、郷田新三郎、武田友太郎、中島稲益、木村鉄吉、菱田文作、堀川豊吉、伊藤甚馬、中野有恭、浜田玉太郎、代平井吾、森生久棚橋小虎及福岡駒吉ノ十三名ニシテ左記事項ヲ決定シ午後十時四十五分無事散会セリ

記

(1) 大会費用予算金六百円トスル事
(2) 自然鋼失上ハ統本部納入会費ヲ一ヶ月十銭トスル事
難争ニ於テ別ニ機関雑誌ヲ発行シ各部係関雑誌不要ノ場合ハ統本ヲ一ヶ月五銭ヲ納入スヘキ事 此等自然団体並ニ寄贈部ハ総本ヨリ発行ノ機関雑誌ヲ義務的ニ購読スル事
(3) 本出張所及常任理事制度ヲ廃止スル事